

3月25日正午必着

明石春浦先生書



楊柳風和日聽鶯 (杜荀鶴)

芳草は日に長きを加えるならん。

明石幸子書



春のくる道のしるべはみ吉野の山にたなびく霞なりけり (大中臣能宣)

春がくる、その道の道案内は、吉野山にたなびいている霞であるのだ。

森戸春濤書



三月雪連夜。未應傷物華。
只緣春欲盡。留著伴梨花。

（劉禹錫）

春の雪のことであるから、草木の花をひどくいたむることはない。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

永受嘉福（漢瓦當文）

ながかふく 嘉福を受く

嘉福はしあわせ。

松雨洗煙埃。山深人未來。
鳥啼花欲暮。春水碧於苔。

（廖道南）

しょうう 煙埃を洗い 山深くして 人來らず
とかな 鳥啼いて 花暮れんと欲し 春水は 苔よりも碧し

友人南遊不還（于武陵）

ゆうじんなんゆう 友人南遊して還らず
うぶりょう 于武陵

相思春樹綠。千里各依依。

あいおも 相思うて 春樹緑なり 千里 各々 依依たり

鄴杜月頻滿。瀟湘人未歸。

こと 鄴杜 月頻りに満ち 瀟湘 人未だ歸らず

桂花風半落。煙草蝶雙飛。

けいか 桂花 風に半ば落ち 煙草 蝶 双び飛ぶ

一別無消息。水南蹤跡稀。

ひと 一たび別れて 消息無し 水南 蹤跡稀なり

あたたかき心こもれるふみ持ちて 人思ひ居れば 鶯のなく

（伊藤左千夫）

半紙部規定課題A

3月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

3月25日正午必着

行書

山木杜
鵲愁

隸書

山木杜
鵲愁

明石春浦先生書

草書

山木杜
鵲愁

行草書

山木杜
鵲愁

いにしえの偉人が一飯の恩義に感じ入ったという そのことはもはや千年のむかし
年古りた墓は、樵人たちが知っているだけ かの時のままにここ楚の地の水は流れる
行きずりの旅人が水際の蘋草を摘んで供え 杜鵑は山中の樹木に悲しく啼く
春の草は年ごとに緑に茂る かの貴公子がかつて遊んだこの地に

漂母墓

劉長卿

昔賢懷一飯

茲事已千秋

古墓樵人識

前朝楚水流

渚蘋行客薦

山木杜鵲愁

春草年年綠

王孫舊此游

漂母の墓

劉長卿

昔賢一飯を懐う

茲の事 已に千秋

古墓 樵人識り

前朝 楚水流る

渚蘋 行客薦め

山木 杜鵲愁う

春草 年年緑なり

王孫 旧此に遊ぶ

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

重九會郡樓



山清氣爽九秋天黃菊

紅葉滿泛舡千里結言寧

有後群賢畢至猥居前

杜郎閑客今焉是謝守風

流古所傳獨把秋英緣底事

重九會郡樓／山清氣爽九秋天 黃菊／紅葉滿泛舡 千里結言寧／有後 群賢畢至猥居前／杜郎閑客今焉是 謝守風／流古所傳 獨把秋英緣底事
重九、郡樓に会す 山清く氣爽かに九秋の天 黃菊紅葉、泛舡に滿つ 千里結言寧んぞ後るる有らん 群賢畢く至り猥りに前に居る 杜郎の閑客今焉んぞ是なる 謝守の風流 古の伝うる所 独り秋英を把る、底事に縁る



山清く気爽かに九秋の天 黄菊紅葉、泛舡に満つ



重九、郡樓に会す

北宋 米芾・蜀素帖

彼は湖北省の人で、字を元章という。若いときから書が巧みで、顔真卿・歐陽詢・柳公権らを習い、更に褚遂良を学び、後には王羲之・王献之らの晋人の書を深く研究した。地方の割合低い官吏を転々としたが、書画がうまかった上に鑑識にすぐれていたために、中央の官吏として抜擢され、徽宗皇帝の書画研究及びコレクションの顧問となり、その面で非常に重く用いられた。

彼の残した書画についての研究記録・著書は今日でも王羲之や唐人の真跡を研究する上で最も重要な参考資料になっている。

彼は蘇軾・黄庭堅とともに宋の三大家の一人であるが、実力の点で最もすぐれているといっている。他の二人は個性的な点で優れているが、彼の場合、古法探求を土台としており、品位と規模において初唐の大家に匹敵しているといえる。

この蜀素帖は、三十八歳の時のものであり、行書で書かれている。蜀素(蜀で織られた絹)に書いてあるのでこの名がある。自作の詩を書いたもので、絹の織目がかすれを出し、また墨の潤濁が効果的で各行とも気力の充実がうかがえ、淳古な書風である。

(春廣)



ひか わか ば
光る若葉

中学一年

雨宮春聲先生書



か ちょうふう げつ
花鳥風月

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



けっ
結

そく
束

小学五年

榎戸春龍先生書



ちょう
調

わ
和

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着



さ

ゆう

小学三年

藤田幸春先生書



こう

じつ

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

らん 小学一年・幼年



森戸春濤書

さん がつ 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

太陽が木のこずえを
明るく照らしている

小学五年

部屋の窓から美しい
緑の森が見えます

小学六年

風になびく雲の切れ間
からもれ差しそくくる月光

中学

天候不順のハイカラ皆
様どうぞ各自愛ください

一般(級位)

長からむ心も知らず黒髪の乱れて今朝はものをこそ思へ
あはれそくはものごとく思へ

長からむ心も知らず黒髪の乱れて今朝はものをこそ思へ(待賢門院堀河)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

わ	ど
い	う
が	ぶ
り	つ
ま	を
す	
	か

幼年

し	花
ら	の
べ	名
ま	ま
し	え
よ	を
う	

小学一年

た	に
ね	わ
を	に
ま	
き	草
ま	花
す	の

小学二年

の	土
こ	や
さ	石
れ	の
た	中
化	に
石	

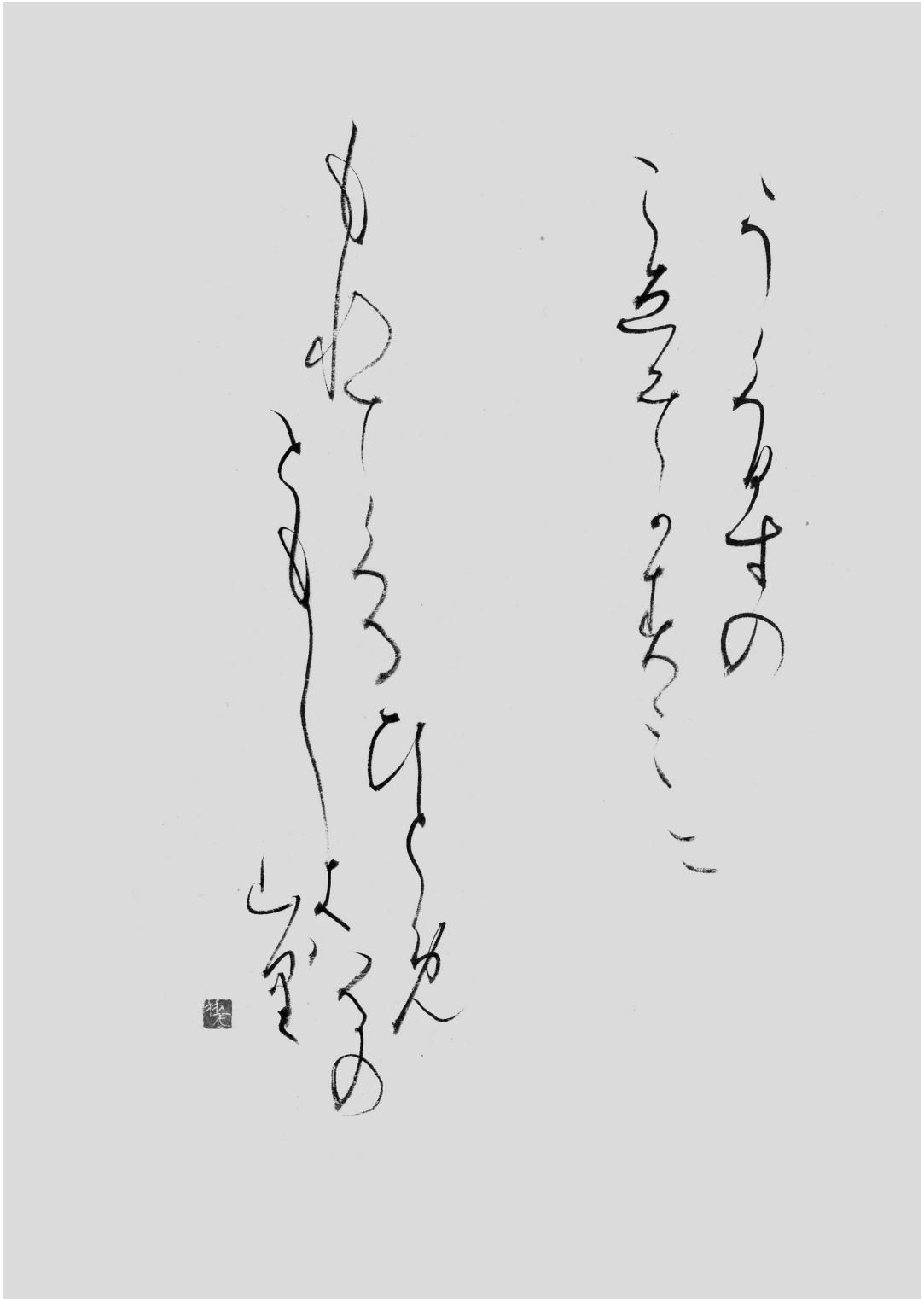
小学三年

こ	地
と	方
ば	に
が	は
あ	そ
り	の
ま	土
す	地

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



松永翠舟先生書

うくひすの
 こゑそ
 かすみ
 もれてくる
 ひとめ
 もしき
 はるの山里
 (西行)